

シェアモビリティサービスの 利用状況

福岡県居住者の「シェアモビリティサービス」に
関する調査

2025年5月



株式会社ジーコム

1. 調査方法

当社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳～79歳の男女

3. 調査時期

2025年4月18日（金）～4月25日（金）

4. 調査規模

424サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	156	36.8
女性	268	63.2
全体	424	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20代	7	1.7
30代	67	15.8
40代	83	19.6
50代	99	23.3
60代	106	25.0
70代	62	14.6
全体	424	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	233	55.0
福岡市以外都市圏	88	20.8
その他福岡県	103	24.3
全体	424	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	104	24.5
公務員	9	2.1
団体職員・病院勤務	11	2.6
経営者・会社役員	8	1.9
派遣社員・契約社員	30	7.1
商工自営	18	4.2
農林漁業	0	0.0
自由業	9	2.1
学生	2	0.5
パート・アルバイト	72	17.0
専業主婦(主夫)	98	23.1
無職	62	14.6
その他	1	0.2
全体	424	100.0

■ライフステージ	件数	構成比(%)
独身(離死別含む)	112	26.4
既婚で末子に小学生以下の子ども	66	15.6
既婚で末子に中学生以上の子ども	55	13.0
既婚(子育て終了)	140	33.0
既婚で子どもなし	51	12.0
全体	424	100.0

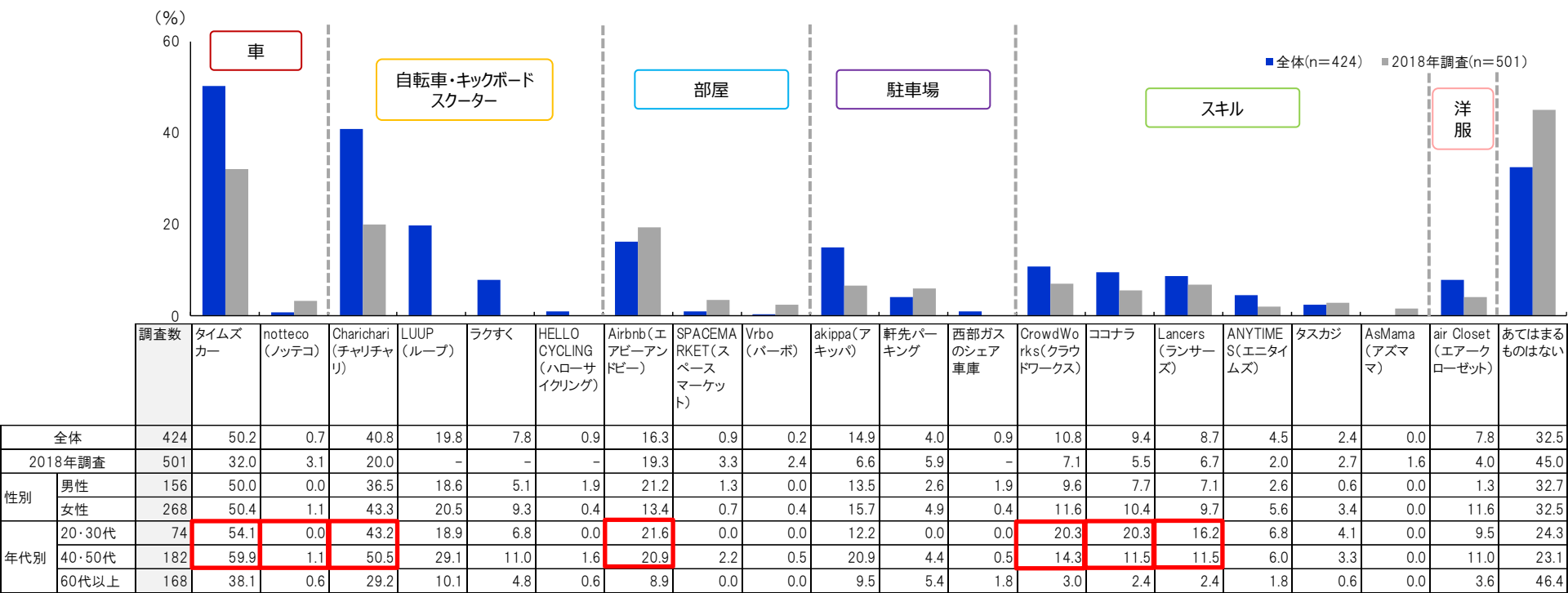
■世帯年収(*学生除く)	件数	構成比(%)
200万円未満	36	8.5
200～300万円未満	54	12.8
300～400万円未満	40	9.5
400～500万円未満	32	7.6
500～600万円未満	52	12.3
600～700万円未満	32	7.6
700～800万円未満	25	5.9
800～900万円未満	23	5.5
900～1000万円未満	9	2.1
1000～1500万円未満	23	5.5
1500万円以上	7	1.7
わからない	89	21.1
全体	422	100.0

【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

- シェアリングサービスの認知度 1 位は「タイムズカー」、2 位「Charichari」、3 位「LUUP」と車や自転車などのモビリティ系の認知度が高く、2018年の調査と比較しても認知度が顕著に上がっていることがわかる。
- 50代以下は60代以上に比べて認知しているサービスが多く、特に40・50代はモビリティ系・駐車場系、20・30代はスキル系のサービスの認知度が高い傾向がある。

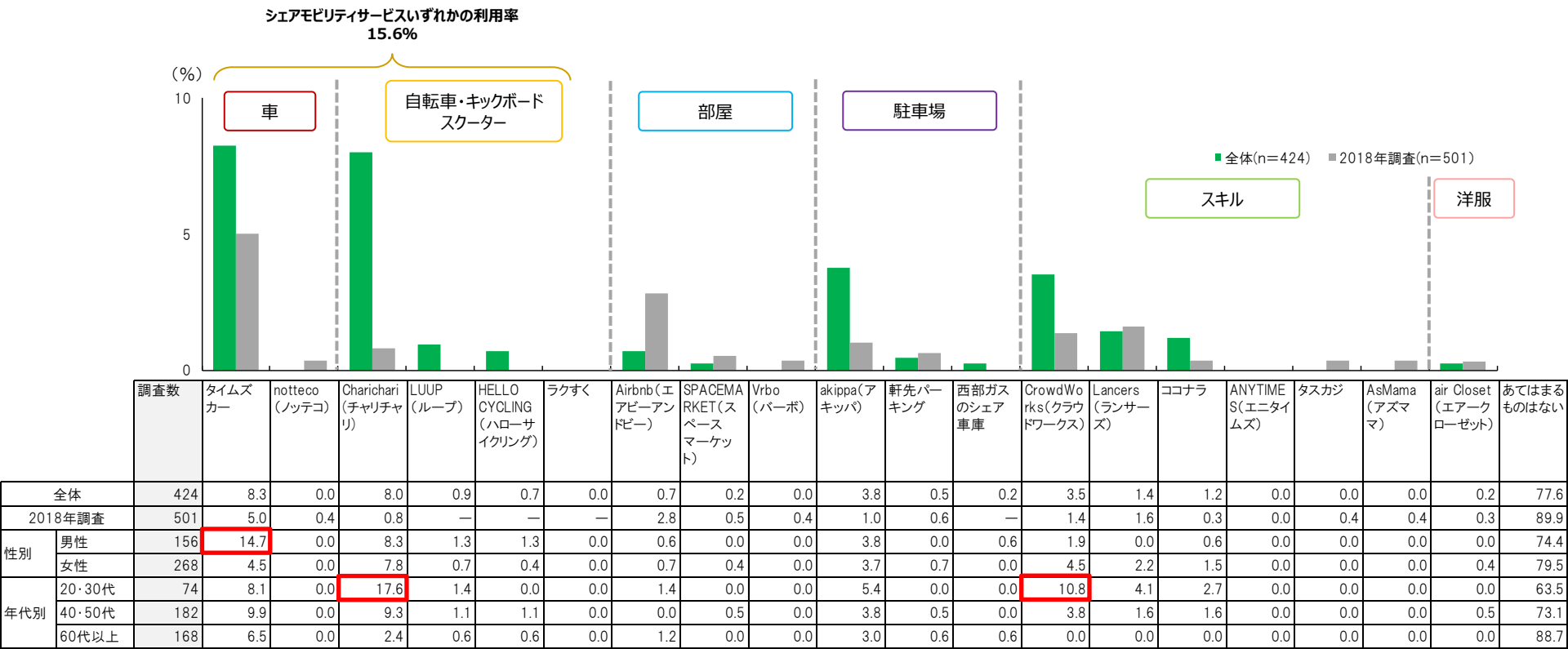
◆シェアリングサービスの認知（複数回答）



* 2025年新規追加項目：「LUUP」「HELLO CYCLING」「ラクすく」「西部ガスのシェア車庫」

- シェアリングサービスの利用経験 1 位は「タイムズカー」、2 位「Charichari」、3 位「akippa」である。2018年の調査と比較すると車や自転車などのモビリティ・駐車場・スキル系は利用率が顕著に上がっており、認知度の高まりが利用率向上につながっている。
- 「タイムズカー」は女性に比べて男性の利用率が高い。
- 20・30代は「Charichari」「CrowdWorks」の利用率が他の年代に比べて高い。

◆シェアリングサービスの利用経験（複数回答）

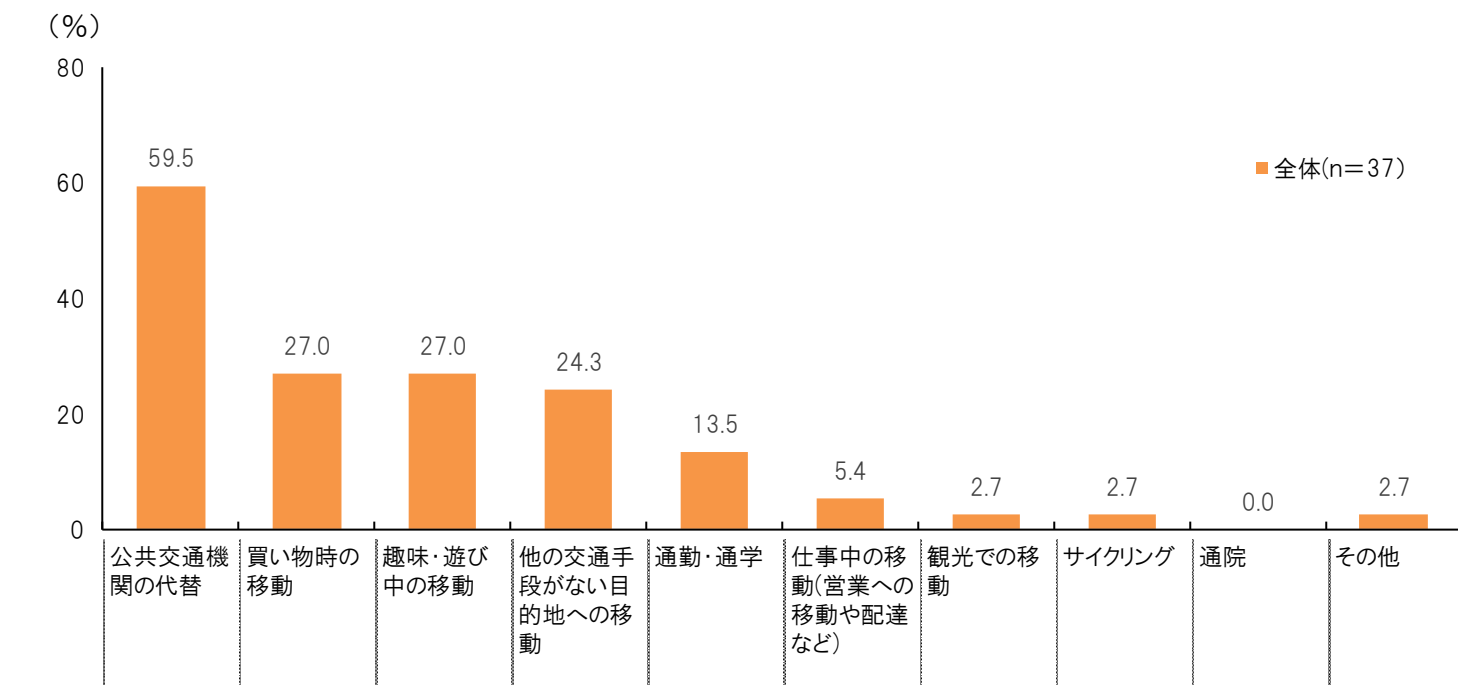


* 2025年新規追加項目：「LUUP」「HELLO CYCLING」「ラクすく」「西部ガスのシェア車庫」

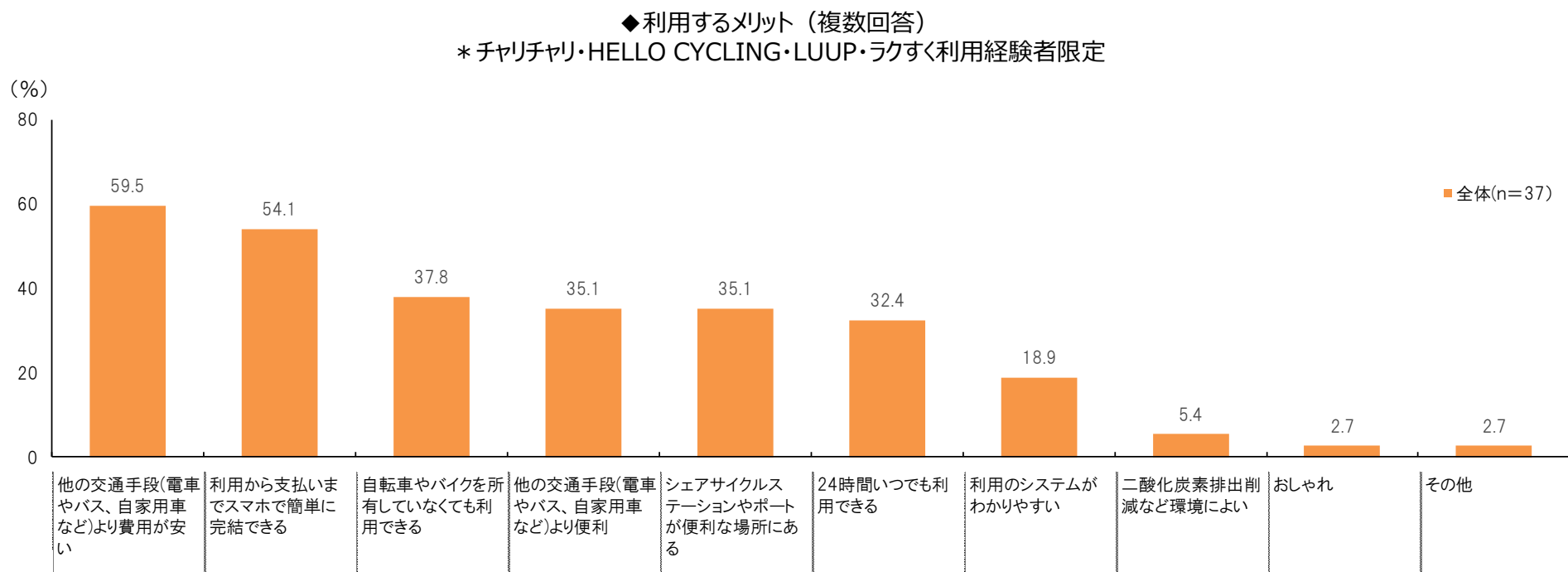
- 自転車・キックボード・スクーターのシェアリングサービスの利用用途は、1位「公共交通機関の代替」が60%と突出して高い。次いで「買い物時の移動」、「趣味・遊び中の移動」「他の交通手段がない目的地への移動」までの上位4項目が2割を超えている。

◆利用用途（複数回答）

* チャリチャリ・HELLO CYCLING・LUUP・ラクすく利用経験者限定



- 自転車・キックボード・スクーターのシェアリングサービスのメリットは、1位「他の交通手段より費用が安い」が60%、2位「利用から支払いまでスマホで簡単に完結できる」が54%と顕著に高い。

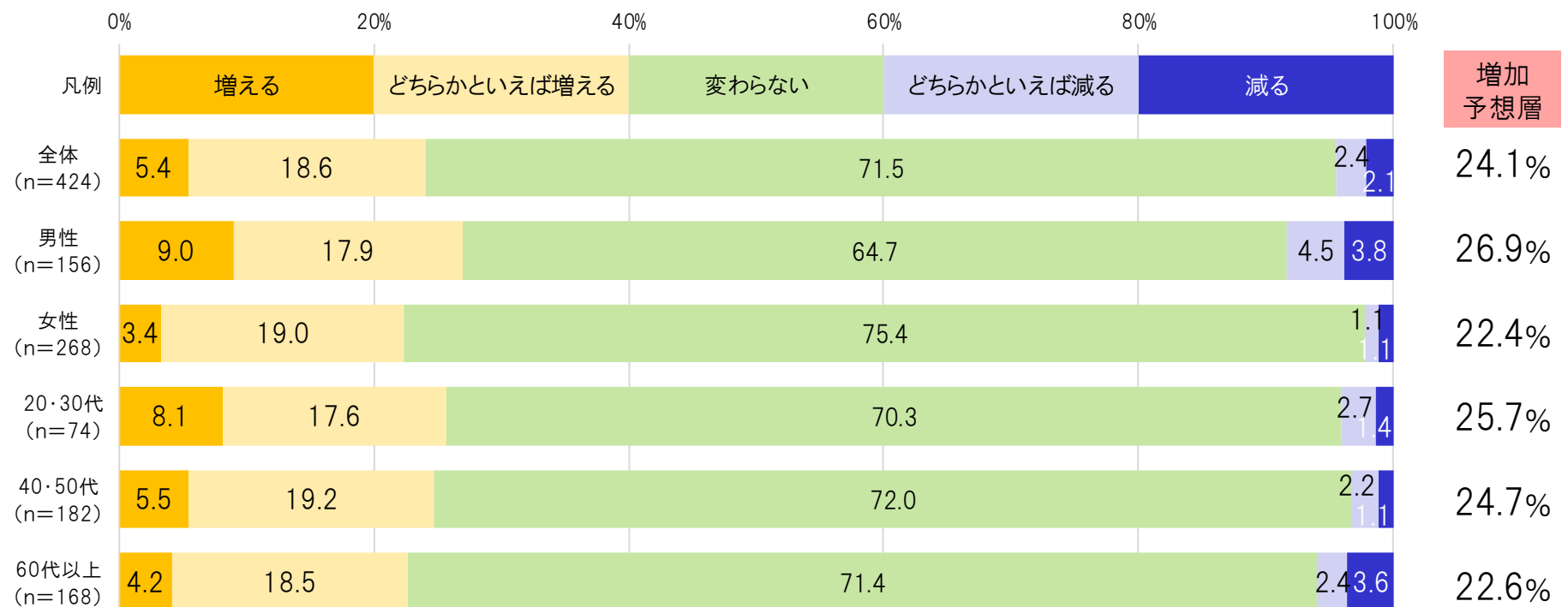


5. シェアモビリティサービスの今後の利用

Q6：チャリチャリやLUUPなどのシェアモビリティサービスについて、あなたご自身の利用回数は今後増えると思いますか。減ると思いますか。 6

- 今後のシェアモビリティサービスの利用について、24%が増加すると予想した。
- 認知度・利用率が他の年代より低かった60代以上でも増加予想層の割合は他の年代と同水準である。

◆シェアモビリティサービスの今後の利用増減（単一回答）



* 増加予想層 = 「増える」+「どちらかといえば増える」

**マーケティングリサーチからコンサルティングまで
福岡・九州の生活者マーケティングは、株式会社ジーコム**

1986年の創業以来、35年以上福岡・九州で
「マーケティング・リサーチ」と「ビジネスコンサルティング」の専門会社として、
顧客視点に基づく科学的なアプローチによつて的確な課題解決策を導き出し、
マーケティングサポートを行っています。

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル7F
TEL 092-761-0221 FAX 092-761-0228
<https://www.gcom-net.co.jp/>
inq@gcom-net.co.jp